

No.	026	—	2001	事務事業名	体育施設管理運営事務				細事務事業名					公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課 名	生涯学習課		係 名	社会体育係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp				
事業区分	施設の維持管理			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	4 文化・スポーツの推進				主要施策	(2) スポーツ活動の充実・促進			
事業の対象	市民及び利用者						根拠法令							
事業の目的	最終的	市民等の健康増進、地域連帯感の醸成及び体育振興による交流を図るため、体育施設を設置し管理運営を行っています。				今年度								
活動内容	①	体育施設利用の運営を行います。				④	施設予約システムを運用し、使用予定の管理や利用者登録を行います。							
	②	施設や設備の点検、修繕を行い、利用者が安全に利用できるよう管理を行います。				⑤	民間のノウハウを活用した経費の削減及びサービス向上を図るためツインドーム重信、農林業者トレーニングセンター及び川内体育センターの管理を指定管理者へ委託します。							
	③	利用者が快適に利用できるよう、備品の購入・更新を進めます。												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
	使用料	使用料収入の年間積算			千円	目標	24,581	21,831	20,259	23,000				
						実績	21,238	20,796						
						目標								
						実績								
						目標								
実績														

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費		
直接事業費		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備 考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	21,238 千円		20,796 千円		20,259 千円							
	一般財源	44,708 千円		28,958 千円		28,814 千円							
	計(A)	65,946 千円		49,754 千円		49,073 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	1.400 人	8,431 千円	1.200 人	7,157 千円	1.200 人	7,214 千円						
	臨時職員工数・経費	0.450 人	865 千円	0.600 人	1,156 千円	0.600 人	1,184 千円						
全体事業費(A+B)		75,242 千円		58,067 千円		57,472 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	社会体育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）													
必要性	市民のスポーツ活動(スポーツ少年団・体育協会・総合型地域スポーツクラブ等)支援のため体育施設を快適に利用できるよう維持管理に努める必要があります。													
有効性	市体育施設にて東温市主催の各種大会(バレーボール大会・ソフトボール大会・運動会・マラソン大会)が開催されたり、多くの利用者がスポーツを楽しんだりしており、体育施設の適正な管理が有効的であります。													
達成度	経年劣化した施設の修繕や備品の更新を計画的に行ったことで、快適な利用を促すことができ、また、体育施設予約サービス利用方法を改めたことにより、スムーズな施設予約ができるようになりました。													
効率性	ツインドーム重信、トレーニングセンター及び川内体育センターの管理を指定管理者へ委託しており、民間企業のノウハウを活用し、サービス向上や経費削減に努めています。また、総合公園についてもサービス向上、経費削減の観点から指定管理者制度の導入を検討します。													
当面の課題	川内体育センターが経年劣化により、快適な利用に支障が出ていますので、大規模改修する必要があります。効率的な体育施設の管理を行うため、指定管理者制度導入施設の拡大を検討する必要があります。													
改 革 計 画	川内体育センターについては平成30年度の改修に向けて、平成29年度に設計を行います。指定管理者制度導入施設拡大については、平成30年度に指定管理者選定委員会を開催し、新しい指定管理者制度を構築します。													
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		川内体育センターの大規模改修を経費節減に努めつつ実施してください。また、この事業に対し受けられる補助金がないか、調査してください。指定管理者制度導入施設の拡大を検討してください。												

No.	026	—	2017	事務事業名	東温市ボート教室事務			細事務事業名				公的関与	8
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	生涯学習課		係名	社会体育係		電話番号	089-964-1500		メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp			
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち			政策項目	4 文化・スポーツの推進			主要施策	(2) スポーツ活動の充実・促進			
事業の対象	東温市内の小学校に通う高学年児童及び中学生						根拠法令						
事業の目的	最終的	ボート競技を体験することで、スポーツを通して青少年の健全育成を図ります。					今年度						
活動内容	①	佐古ダムボート練習場で、愛媛大学ボート部員の指導によるボート体験教室を開催します。					④						
	②						⑤						
	③												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標	
	参加人数			実績			人	目標	30	30	30	30	
								実績	19	12			
								目標					
								実績					
								目標					
実績													

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	教育				費	
直接事業費		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	51 千円		46 千円		81 千円						
	計(A)	51 千円		46 千円		81 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	301 千円	0.050 人	298 千円	0.020 人	120 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.005 人	10 千円					
全体事業費(A+B)		352 千円		344 千円		211 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	社会体育係	総合評価点	D	必要性	1	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	子どもたちにとって、ボート競技などいろいろなスポーツ体験を行うことは、青少年の健全育成に必要です。												
有効性	ボート競技という、普段なじみの薄いスポーツを、気軽に体験できるため有効です。但し、市が艇を保有しているわけではなく単独で実施できるスポーツではないため、手軽に実施できないことが課題です。												
達成度	体験教室としては、概ね達成していますが、施設整備が十分に整っていないため、今後は、ボート競技の普及振興につなげていくことが必要です。												
効率性	以前は国の補助事業であったため、積極的な協力が得られましたが、市単独事業になってからは愛大ボート部の学生に直接依頼する形となっており、指導資格者の派遣等内容の検討が必要です。												
当面の課題	参加人数の増加やボートの数が限られているため、待ち時間が長いことが課題となっています。また、施設・設備の老朽化への対策も必要です。												
改 革 計 画	参加人数を増やし、競技人口の増加に繋げるため、水上だけでなく陸上の訓練体験やボートにまつわる興味深いエピソードの提供をしていきます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	C	必要性	1	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		関係団体との連携を図りながら、ボート人口の増加普及を目標として、地元東温高校にボート部が創部されるよう、底辺の拡大に努めてください。限られたボート数のため、参加人数によっては、陸上と水上のメニューを組み合わせることにより効率のよい教室運営を行ってください。											